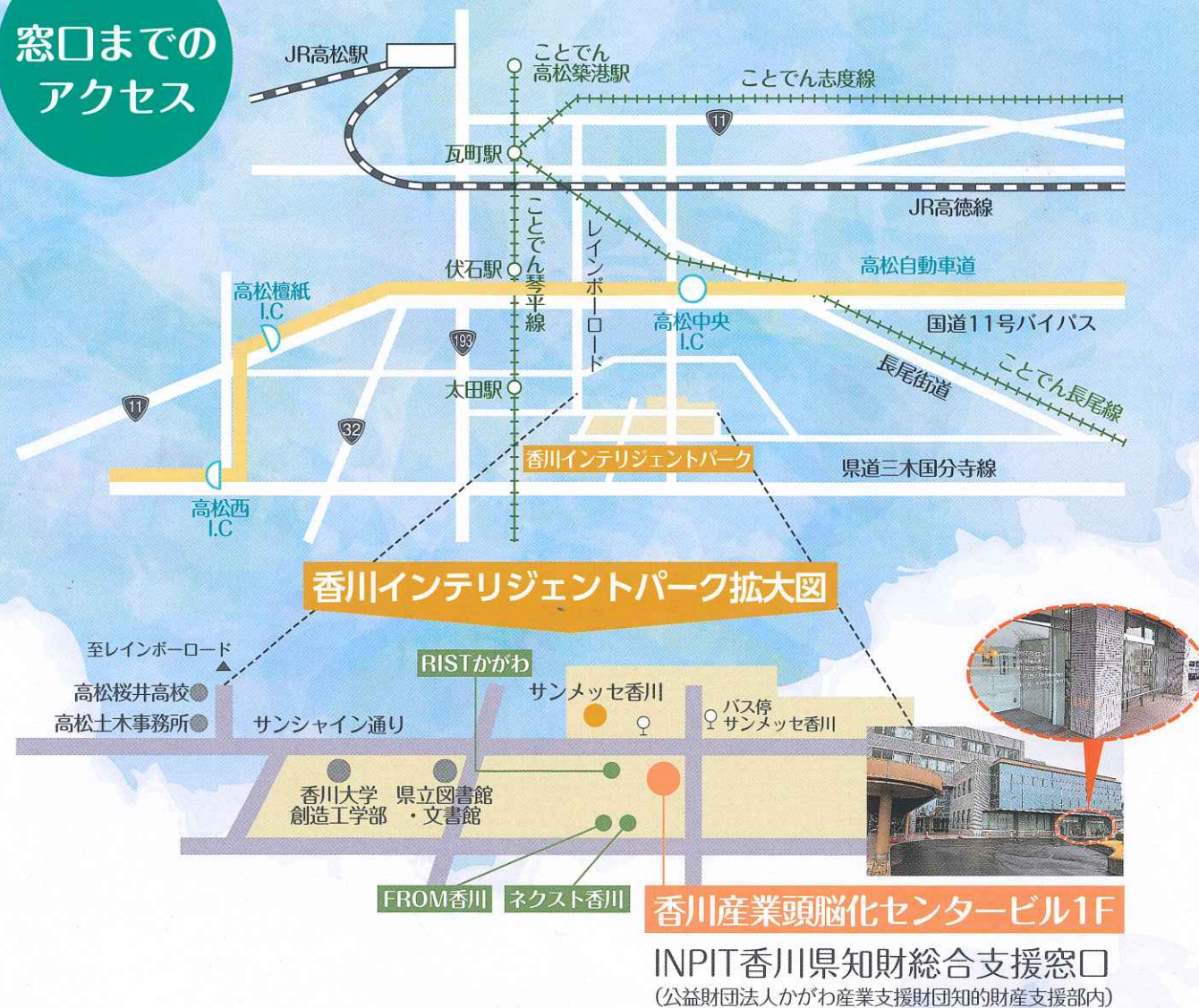




独立行政法人
工業所有権情報・研修館

INPIT（インピット）は、特許庁と連携しながら
企業における知的財産活用を支援する公的機関です

窓口までの
アクセス



- [交通アクセス]
- ・JR高松駅より車で約25分（約9km）
 - ・JR高松駅 定期路線バスで約30分
〔サンメッセ・川島・西植田線 サンメッセ香川下車すぐ〕
 - ・ことでん伏石駅より定期路線バスで約15分
〔伏石駅サンメッセ線 サンメッセ香川下車〕
 - ・高松道 高松中央ICより車で5分（約1km）
 - ・高松空港より車で約25分（約12km）

INPIT香川県知財総合支援窓口直通 Tel.087-802-3650

INPIT香川県知財総合支援窓口

〒761-0301 高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル1F
公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部内
TEL：087-802-3650
e-mail：chizai-madoguchi@kagawa-isf.jp
U R L：https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagawa/info/access



INPIT

※INPITは「いんぴっと」といいます

香川県知財総合支援窓口 のご案内



相談無料

秘密厳守

訪問支援可

[開設時間] 毎週 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始を除く）
8：30～12：00 13：00～17：15

TEL：087-802-3650

E-mail：chizai-madoguchi@kagawa-isf.jp

U R L：https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagawa/



[受託機関]

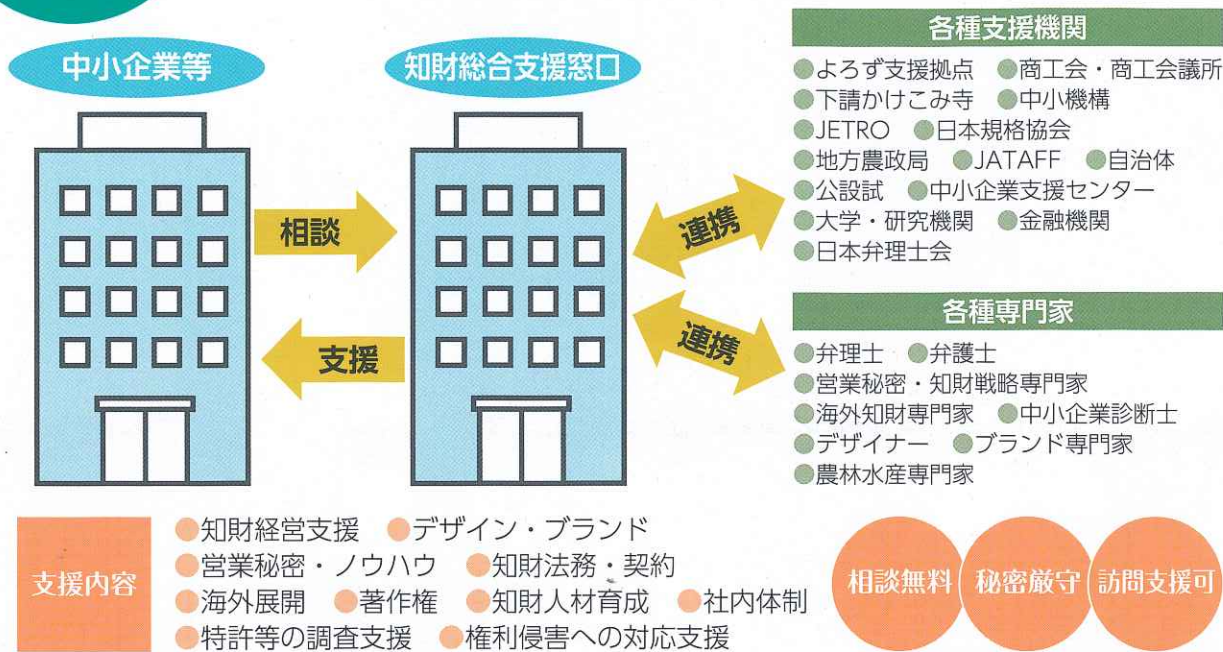


公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT/インピット）受託事業

知財総合 支援窓口 とは

中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図ります。また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士、弁護士等の専門家や様々な支援機関と連携して、協働して支援を行います。



ご相談の ながれ



1 まずはお電話ください！

相談を希望される方は、
あらかじめお電話をお願いします。

2 支援担当者にご相談にお答えします。

- ・窓口での支援
- ・状況に応じた訪問支援
- ・各種支援機関での臨時窓口支援



3 必要に応じて知財専門家等が支援を行います。

- ・専門家相談会での支援
- ・訪問支援（相談者様が中小企業等の場合のみ）
- ・中小企業支援機関と連携した支援

4 フォローアップ支援を行います。

ご相談後も新たな知財ニーズの発生や
知財経営のステップアップに向けた
フォローアップ支援を行います。



支援担当者 の紹介



馬上 元彦



金川 小百合



長尾 正美



重田 賢一

支援事例

CASE 1

浸水対策を止水板特許でビジネス化

四国プランニング株式会社



▶相談のきっかけ

現在販売している止水板の改良が行われた際、知財での保護が可能かとの相談をINPIT 香川県知財総合支援窓口にて受けました。止水板や止水装置の構造を伺い、多数の技術的なイノベーションを実現されていてユニークな企業だと驚きました。同社の意気込みと発明プロセスへの理論、技術的な深い理解を実感し、特許出願支援を開始しました。

▶支援概要

同社は近年、ゲリラ豪雨などの大雨災害から需要が高まっている浸水対策用の止水板や止水装置を設計・施工しています。止水板及び止水装置での技術的特徴について権利化するにあたり、特許出願から権利化まで専門家活用によるサポートを実施。同社が工夫した点について、従来技術と比較し特許出願のポイントとなる構成をアドバイスした結果、2件の特許権を取得しました。（特許第7627945号、特許第6886173号）

止水板の形状については種々のバリエーションが考えられることから、外観デザインにおいて意匠出願を行うよう提案し、権利化まで支援を行いました。（意匠第1787123号、意匠第1787075号）また、弁護士による契約書作成の支援に加え、現在、香川県よろず支援拠点とも連携して支援を行っています。

従来は大掛かりな設置作業により浸水対策を行っていましたが、ハニカム構造で軽量かつコンパクトな当社の止水板は、高齢者でも容易に設置できる新しい技術となります。

▶支援成果

知財権を取得した技術により止水板と床との間の隙間を完全になくし、浸水を確実に防止しつつ取扱い性にも優れた製品の提供が可能に。また、天井収納型の止水装置は、チェーンにより昇降自在な止水板が豪雨時に床まで下りて浸水を防ぐので、必要な高さを確保しつつコンパクトな収納を可能にし、迅速かつ容易に行うことができる止水対策を提案できます。

同社では特許と意匠を組合わせて模倣を防ぎ、ブランド価値を維持しており、知財権の組合わせで製品を多面的に保護することができました。また、製造は契約書作成支援で契約内容を整理したうえで協力会社に委託することで、小規模体制でのビジネスを可能とする運営シナジーが生まれています。協力体制が得られビジネスとしてより発展していくことが可能となりました。

以上の効果で特許権及び意匠権取得の独占権により模倣を阻止しました。また、商流による売上げ増加で、今後の収益拡大が見込めると考えます。特に、都市部では水害リスクが高まっており、気候変動や自然災害の増加に伴い、防災対策としての止水板の導入を進めています。止水板市場を持続可能なビジネスモデルとして革新していくことを期待しています。



CASE 2

店名のブランド戦略・使用許諾の支援による事業拡大

有限会社盛



▶相談のきっかけ

同社がラーメン店の名称として使用している「讃岐ラーメン はまんど」を商標登録するにあたり、取引先からINPIT 香川県知財総合支援窓口への相談を勧められたことがきっかけです。

▶支援概要

商標登録出願前に製麺企業から同社に対して当該商標の使用許諾申込みがあり、事業が拡大しつつあることと、当該商標の使用許諾による事業拡大もしたいという同社の意向を踏まえ、商標登録に加えて登録後の活用の進め方が重要であることを助言しました。

具体的には、ラーメン店の名称としての使用だけではなく、商品に使用することを想定した商標登録や、使用許諾契約交渉中であることから早期審査制度利用について助言しました。当該商標は商標登録第6367025号として登録され、登録後に自治体の補助金活用についても支援しました。

更に2020年12月から使用許諾先の製麺企業による商品販売が始まり、売上げが堅調に推移していく中、駅ビルの管理企業から出店依頼を受けていると2022年7月に相談がありました。店舗運営に係る契約をしたいという同社の意向を踏まえ、専門家（山田威一郎弁護士）の専門家派遣を活用し、登録商標の使用許諾に加えて材料の供給及び管理企業従業員への指導等を含めた店舗運営に係る契約書作成を支援しました。駅ビルの店舗は2024年3月に開店し、駅ビルの小売店では製麺企業により、開店に合わせて開発した新たなパッケージの商品を加えた2つの商品の販売も開始されました。

▶支援成果

事業戦略に即した商標登録ができたことで、登録商標の商品への使用許諾が可能となり、商標使用許諾先の商品販売が始まりました。また、材料の供給及び従業員への指導を含めた店舗の運営に係る契約を締結したことによって、商標使用許諾先の店舗開店の条件面を整備でき、統一したブランドイメージを確保した上で、事業が拡大しています。

